



開催日時：令和6年7月16日 13:30～14:30

開催場所：旧千葉家住宅主屋活動室（神保の間）

テーマ：① 各団体の活動について

② 西国街道・日浦山の魅力は？それらを
より高めるためには？

③ 町民の町への愛着とは？

参加団体：西国街道・海田市ガイドの会

かいた幸ぼう

海田里山ガイドの会

古民家ひまわり

（計6名）



発言要旨

西国街道・海田市ガイドの会

・海田町は原爆被害をほとんど受けておらず、西国街道が昔のまま道幅もほぼ変わらず残っている。あるものを活かして、どう活用していくかという視点が重要。

・西国街道ガイドの終点でもある旧庁舎跡地にはトイレやベンチが備え付けられた、雨宿りできる休憩場所がほしい。本格的な建物はいらない。

・ふるさとへのアイデンティティ（自己認識）を意識してもらいたい。

古民家ひまわり

・旧千葉家住宅など残っているものを生かして子ども達に古き良き時代のことを伝えていくことは今しかできない。

・インバウンドを意識して、お茶を楽しむなど文化を体験できる場や物産を紹介する場所があればよい。

・西国街道沿いには休憩場所がない。旧庁舎跡地にはカフェコーナーなどがあればよい。

かいた幸ぼう

・（昔賑わっていた秋祭りの縁日のように）西国街道が人で賑わっているところを子ども達に見せたい。

・旧庁舎跡地はイベントが出来るように駐車場やトイレを整備するほか、水道や電気を使えるようにしてもらいたい。また、「自販機やお弁当を座って食べられる場所があればいいのに」との声を聞く。ハコモノは必要ない。

海田里山ガイドの会

・日浦山はアクセスが良い。広島駅から電車で10分という好立地。

・日浦山は入門コースとして絶好。登山ルートを整備やイベントなどを行うとコミュニティがもっと広がる。

竹野内町長

・「ふるさとへの愛着」は大きなテーマ。西国街道や日浦山などをフィールドに、ふるさとを感じる体験をすることで、ふるさとへの意識が芽生えてくる。子どもたちが一旦町外に出ていくことがあっても、いつか帰ってきたいと思える流れをつくっていくことが大事。